

「古代官道」推定図



○津尉(推定)

博多湾

筑前国

鴻臚館 福岡

三宅廃寺

大野城

基肆城

大宰府

宝満山

春日公園遺跡
九大キャンパス内遺跡

前田遺跡

杉塚廃寺
塔原廃寺

井上廃寺

小郡遺跡

横田切通

辛上廃寺

鳥栖

筑後国

吉野ヶ里切通

祇園切通

久留米

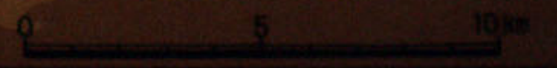
筑後国府

肥前国

凡例

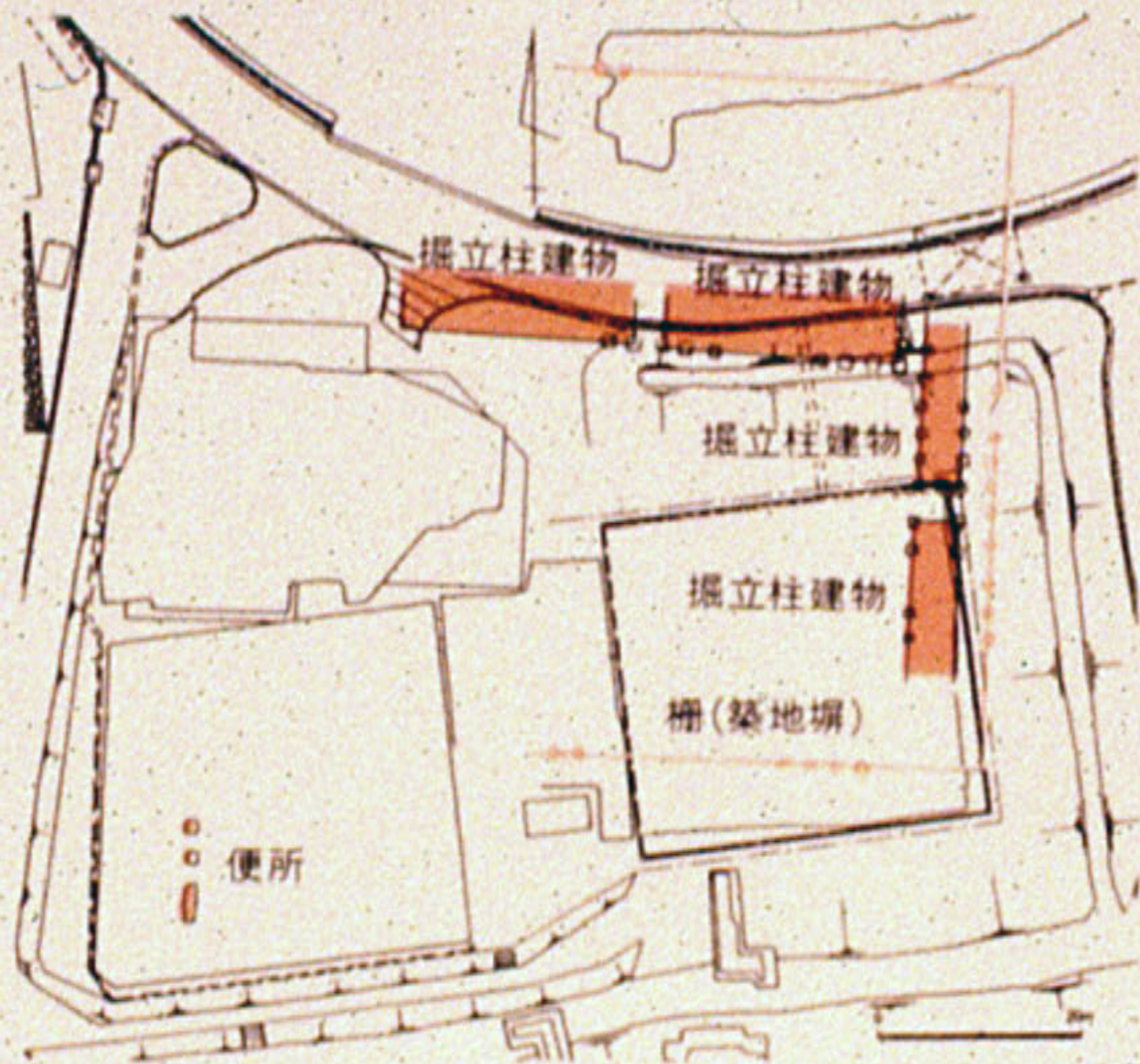
- 発掘された官道
- 官道沿の古代寺(廃寺)

高良山

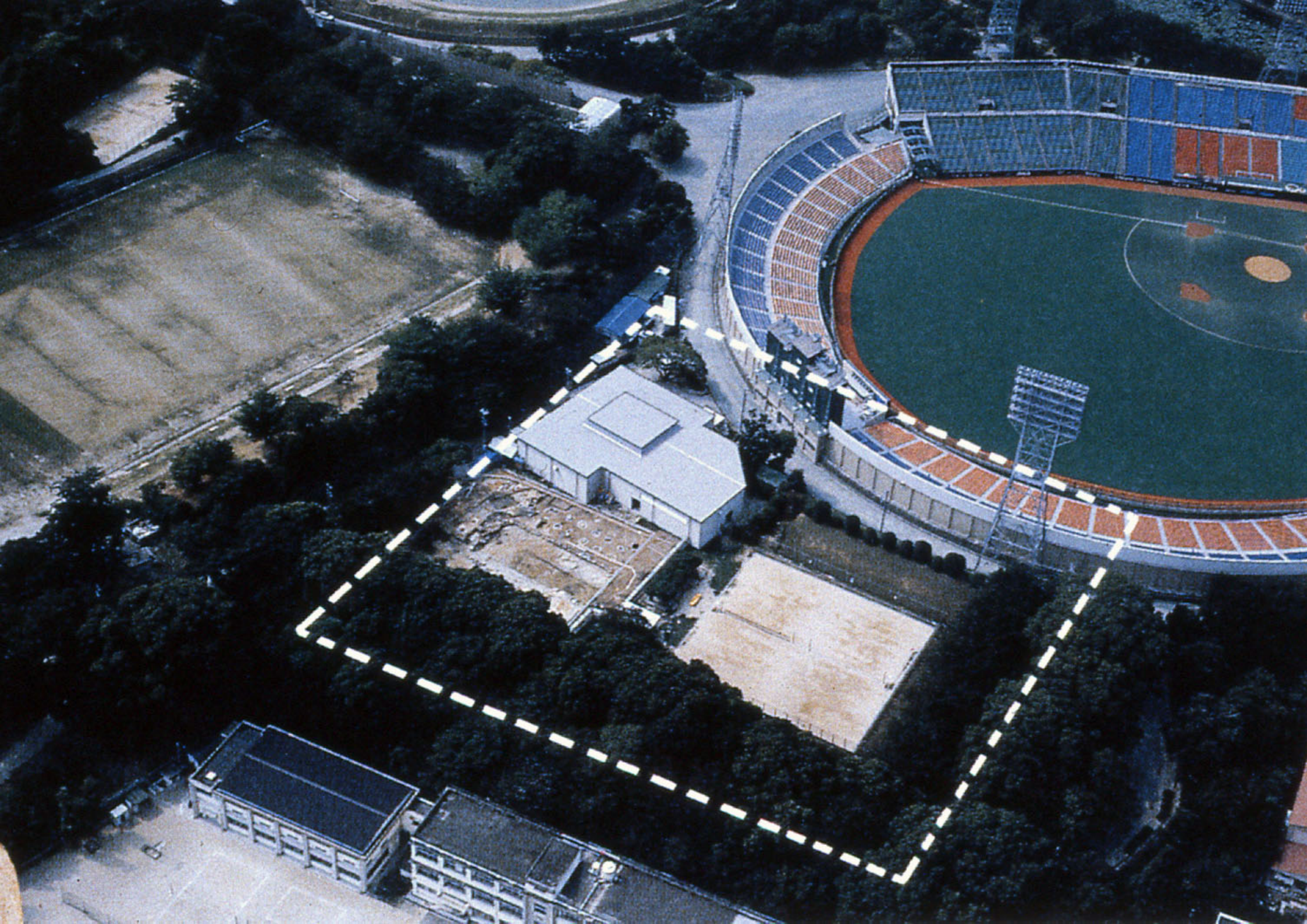








奈良時代(図2)











青磁碗

青磁水注

青磁水注

青磁碗

青磁碗

青磁碗

青磁碗

青磁碗

青磁碗

青磁碗

青磁碗



青磁碗 中国浙江省越州窯 9世紀 (SK-02出土)

底部内面に重ね焼のための目跡が厚く残っている。



青磁草花文碗 中国浙江省越州窯 10世紀 (SK-03出土)

底部内面にいわゆる毛彫りの文様を施した上質の青磁碗。



白磁碗 中国唐代末の白磁 9世紀 (SK-01出土)

蛇の目高台をもつ白磁碗の底部片。



白磁碗 中国北宋代の白磁 11世紀 (SK-01出土)

この時期の白磁碗の出土例は少なく、完形での出土は珍しい。

筑紫館と鴻臚館



軒丸瓦 9世紀 (SD-03出土)

鞍手郡鞍手町イヨ谷遺跡出土瓦と同范と思われる。



軒平瓦 8世紀 (SK-01出土)

鴻臚館式とよばれる瓦である。



連珠文飾石硯 10世紀 (SD-01出土)

滑石製の硯で、上端部の破片と考えられる。(撮影:白石公高)



イスラム陶器 9世紀 (SB-01出土)
青緑釉貼付文壺の破片。西アジア地方
でつくられたもの。



ガラス瓶(左)とガラス杯(右) 9世紀 (SK-02出土)
西アジア地方でつくられた厚手の瓶と薄手良質の杯。



大泉五十 (SK-01出土)
中国古代の銅銭で、西暦7年に初鑄、
西暦14年に廃止。日本初出土。



新羅焼蓋 8世紀 (SD-03出土)
統一時代新羅(西暦676-935年)の陶質土器。



青磁褐彩双耳壺 中国浙江省越州窯系 9世紀
(SK-02出土)



青磁褐彩水注 中国湖南省長沙窯 9世紀 (SK-02出土)



青緑釉陶器 壺

Blue glazed ware jar

アッパース朝(9世紀)

イランまたはイラク

館跡出土のイスラム陶片

8-9世紀のペルシヤ壺

復元図完成 高さ70センチ、文様も

福岡市教委

直してい
中央区城
スラム陶
陶片を元
か二十日
出土の
制作地
のペルシ
で、ワ
壺(つぼ)
れた。

一方、同じ土塚から中国・
唐代の福州で鑄造された貨
幣が出土していることも分
かり、ナゾが多いイスラム
陶器の伝来ルートや時期を
考えるうえで貴重な資料と
なりそう。

全部で十八点。いずれも青
緑色の釉(ゆう)がかかり、
うち数点には波(綱)や点
状の張り付け文がある。

イスラム陶器片は福岡市
教委が調査している鴻臚館
跡の九-十世紀の土塚三方
所から見つかったもので、



鴻臚館跡出土のイスラム陶器片の想像復元図



これをもとに、太宰府市
教委の山本信夫技師が想像
復元図を描いた。イスラム
陶片はこれまで鴻臚館を含
め四カ所で見つかった。出
土が国
宰府遺跡
ら見つか

陶磁の道



モンゴル

日本海

太平洋

インド洋

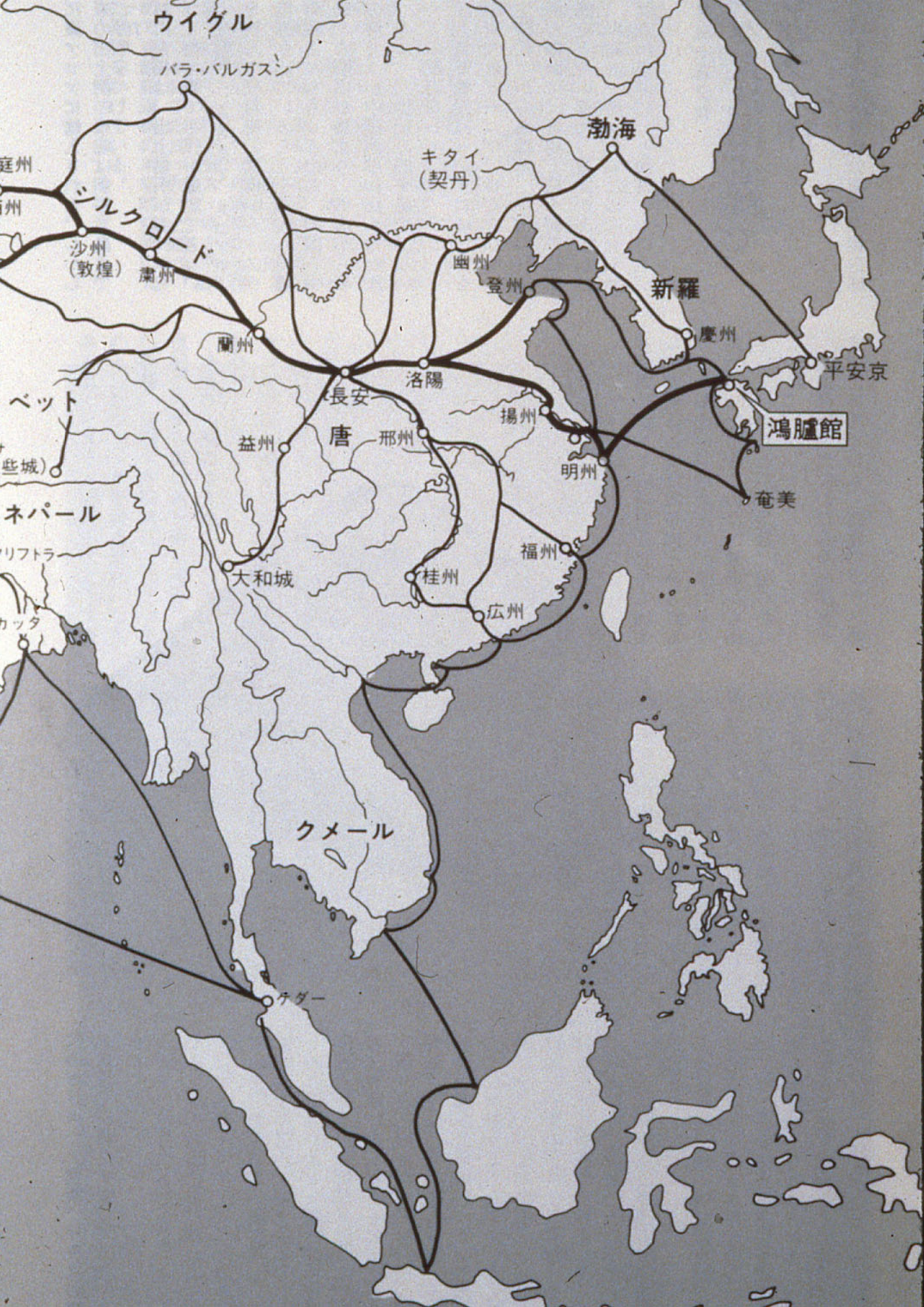
凡例

- == 海上ルート
- オアシス・ルート
- ステップ・ルート
- (---は17世紀以降に開発)









ウイグル

バラ・バルガス

渤海

キタイ
(契丹)

新羅

平安京

鴻臚館

沙州
(敦煌) 肅州

蘭州

洛陽

長安

揚州

明州

奄美

ベトナム

益州

唐

邢州

福州

大和城

桂州

広州

クメール

チター







Bán

BỘ THỦY
CẠI MÔNG







HƯA THIÊN HUE

vịnh Đà Nẵng

QUẢNG NAM

ĐÀ NẴNG

QUẢNG NGÃI

BÌNH ĐỊNH

GIA LAI-KON TUM

QUY NHƠN

PHÚ

Hải Phòng - 110



IG





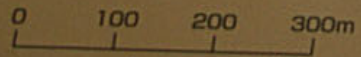




伏木観光ガイドマップ



高岡市万葉歴史館まで	約 580m	徒歩 約8分
高岡市北前船資料館	// 1,500m	// 20分
JR伏木駅	// 1,900m	// 30分



新伏木港大橋(仮称)
平成20年度完成予定

日本製紙(株)
伏木工場

東亜合成(株)
高岡工場

如意の渡像
Statue of Nyū no Watashi

如意の渡
Nyū no Watashi

高岡市伏木
気象資料館
(越中国守館跡)
Fushiki Weather Observatory

やや家
Soyuzai Shop/Yayaya

重要文化財
勝興寺(越中国庁跡)
Shokoji Temple

寺井の井戸

市指定文化財
高岡市伏木北前船資料館
(旧秋元家住宅)
Takaka Fushiki Klamae Transport Museum

伏木古府局

高岡市万葉歴史館
Takaka Manyo Historical Museum

正法寺

至平和の鐘

ニ上山万葉ライン

重要文化財
武多神社
Takaka Takeda Shrine

重要文化財
大洋神社
Takaka Otaei Shrine

県指定文化財
越中国分寺跡
The remains of Ikaru
Shirayama Jingu Temple

万葉歴史館口

伏木古府

古府小学校

伏木矢田上町

矢田局

伏木派出所

伏木古府二丁目

伏木古府三丁目

伏木矢田

伏木古府元町

伏木古府

伏木中学校

伏木小学校

伏木一宮

伏木神社

気多神社口

伏木消防署

伏木本町

伏木曳山山蔵

藤井能三
生家跡

伏木中央町

本町広場

高岡市万葉スポーツセンター
伏木図書館

高岡市役所
伏木支所

伏木中央町

登録有形文化財
高岡商工会議所
伏木支所

伏木錦町

登録有形文化財
榎田家
Enoki Residence

伏木駅前

伏木駅前観光駐車場

伏木

如意の渡像

如意の渡

新伏木港大橋(仮称)

平成20年度完成予定

小矢部川

日本製紙(株)
伏木工場

東亜合成(株)
高岡工場





越中国守館跡 元来遺跡
△朝平園は昔通り射水川
朝漕の歌う船人 昭和九年
天保二年三月百越中国
守大傳家持の館會朝平園に
射水川・漕歌の船人今も園に
大立あり射水川小立御川は
昔時の台地を今も流す
射水川大立岸館跡大立の地名
は朝平の館跡と推定
高岡市教育委員会
伏木文化会



富山県指定史跡 越中国分寺跡

昭和四十年十月一日指定

全国の各箇々に国分寺・国分尼寺を建立する大嘗会は、天平十三年（七四一）二月に発布された聖武天皇の「国分寺創建詔」に始まると言われる。越中国分寺の創建年代を明記した資料は存在しないが、万葉集の代表的歌人大伴家持が採んだ歌には、天平二十年（七四八）に、「先の國跡の住僧清見」の送別宴を催しており、天平時二十（七五〇）には、布勢水海に赴いた一行に「講師僧善行」の名がある。國跡、講師は国分寺の最高僧職であることから、この項にはすでに国分寺があったと推定される。

越中国分寺は、昭和十一年の発掘調査によつて、善行堂付近で奈良時代後期の瓦や、その他の遺物が出土した。また、善行堂の柱の基礎に据えられた石材のうち四割は未加工ながら、小室に不約合いな巨石を用いていることや、堂の土盛り基礎と堂の東側に残る土盛り基礎の跡を結んだ周溝から、金堂跡と推定されている。その他にも、境内より南行する国分寺道と呼ばれる古道が発見されたことから、昭和四〇年、善行堂境内を含む周辺約十五万平方メートルが、越中国分寺跡として県の史跡に指定された。



国分寺跡

平成二十五年九月二日
富山県教育委員会
高岡市教育委員会



古都洛阳

Ancient capital Luoyang

西山石窟

四部
水之脉
行首焉
行首焉
山首焉
白居易



石馬王池
 游麟寺
 实阳北洞
 实阳中洞
 实阳南洞
 敬善寺
 摩崖三佛
 新罗像龕
 珍珠泉
 舒鼓洞
 双佛洞
 万佛洞
 清明洞
 惠州洞
 汗香岩
 老花洞
 慈光洞
 弥勒洞
 弥勒洞
 石牛洞
 普泰洞
 赵岩洞
 破岩洞
 文殊洞
 魏字洞
 唐字洞
 卢舍那大像龕
 药方洞
 来恩洞
 六瓣洞
 北阳洞
 古阳洞
 火烧洞
 皇甫公窟
 六座塔
 八作司洞
 龙藏将军洞
 地华洞
 净土堂
 板南洞

香山寺

东山石窟



白居易墓园

白居易墓园
 香山寺出口
 香山寺
 香山寺八
 四雁洞
 二莲花北洞
 二莲花南洞
 吐火罗僧龕
 看经寺
 老门古道
 西方净土变龕
 千手千眼观音龕
 高平郡王洞
 插鼓台南洞
 插鼓台中洞
 插鼓台北洞

14 5:20

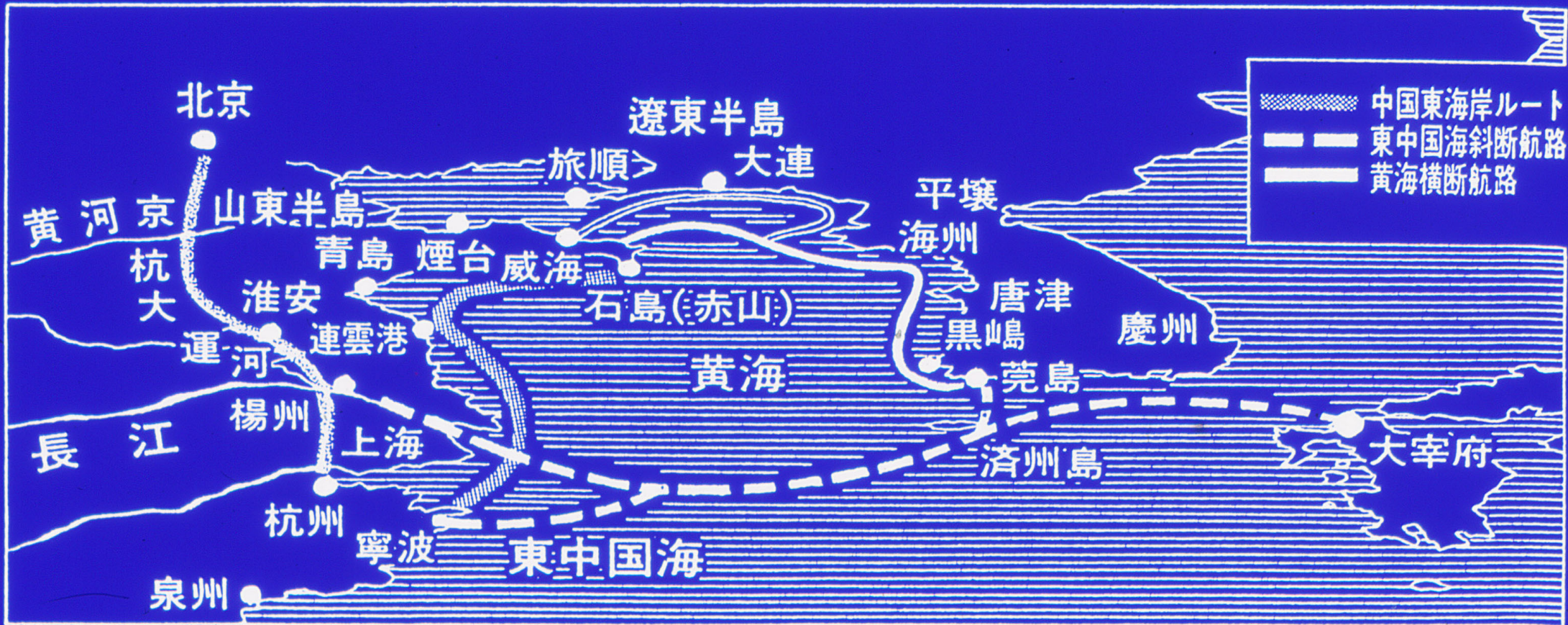








張保阜商団の航路





終